

介護部会 横浜北部②ブロック会議 報告

【実施日】 平成30年 9月22日（金） 14:00～16:00

【会議実施会場】 介護老人保健施設 ラ・クラルテ

【参加人数】 13名（10施設）

【議事項目】 人材不足に対するアプローチ
○介護の魅力の発信方法・手段（ツールの作成等）
○発信する対象（誰に向けて発信するのか）

【内容】

1. テーマに対する意見

身体介助のみのイメージだと大変そうに感じるが、研修等で高みを目指せる職業で有ることを知ってもらおう。

実際に、一般の高校に出向いて就職説明会を行う。

介護の専門に行っている人で出産や結婚等で現場を離れている方に声をかけてみる。

幼稚園生や保育園の頃から、お年寄りとの関わり会える場を提供したらどうか。

高校生等にボランティアで来て頂く。

今の景気の状態介護の仕事をして、食ってけるのか心配になる。（親が）

施設と地域の方との交流があれば、介護の仕事は相手に喜んでいただけるところを知っていただけるのではないかな。

介護のイメージはヘビーなイメージが多いので、イメージの修正が必要なのではないかな。

給料が安いイメージがあるので、介護をしたい方を余計に遠ざけているのではないかな。

給料が低くても景気に影響されないのではないかな。

高齢の方を職員採用しても良いのではないかな。

今の世代はお年寄りに関わる時間が短いので、小さい年齢から接して行ければよいのではないかな。

人が少ないのはどうしてなのだろうか？と考えた方が良いのではないかな。

SNS等を使う。（目が届くように形作りする）

介護を知ってもらう。

興味を持ってもらう。

高校生が働いている人が多い施設もある。

給料が安いというイメージが独り歩きしているのではないか。

給料をオープンしていく。

キャリアアップ等もできることを配信する。

医療と同じように考えていただけると、また、介護のイメージが変わるのではないか。

高校生等に介護の仕事を体験して頂く。(魅力を持って頂く)

納涼祭や敬老会などのボランティア等で、一般の方や学生に来ていただき、魅力を伝える。

ホームページの作成・更新が出来ていければ良いのではないか。

資格がなくても仕事できたり、仕事をしながらでも資格取得できたりすることをアピールしていく。

進路を決める時に何を重要視して決めているのかは把握出来たら、アピールしやすいのではないか。

介護の魅力を TV で行っているが、もっとあっても良いのではないか。

介護職に興味がない人にどうイメージ付けていくか。

発信する機会が少ない。

小学校・中学校・高校生に介護体験して頂く。

現場職員が語る、介護の魅力の小冊子を作る。

メディア活用もいいが、介護の仕事を検索させるにはどうしたら良いか・・・

⇒小冊子等で知ってもらう方法がよいのでは

介護職員の体験談をのせる

介護の魅力自体職員に振り返っていただける機会になるのではないか？

介護職あるある川柳を作ってみる。

文字だけではなく、色（デザイン）を使ったり、目に止まったり興味を引きつけるように作成する。

仕事しようと考えたときのために連絡先を記載。

2. その他

就職で高校生が多いのは、地方からきていたり、寮があったりする事がホームページに乗っている。

今後新しい職員が来たら辞めさせない方法を考えなくてはならないのではないか。

緑区の中学校から、学校から職場体験の案内がきている所と、来ていない施設がある。

家族会は各施設何をしていますか？

・勉強会（セミナー）・アンケートを取ってニーズをやる・ビュッフェを行って交流会をして

いる（面会率アップした）ただし、変化させないとマンネリ化する・1日だけでも家に帰れたら良いよね～みたいな外泊支援の促しもできるのではないかな。